

## I 第29週の発生動向 (2015/7/13~7/19)

1. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内で第21週から**警報**が継続しています。
2. 手足口病については、八戸保健所管内で**警報**が発令されました。また上十三保健所管内で第27週から、弘前保健所管内で第28週から**警報**が継続しています。
3. 感染性胃腸炎については、患者報告数が127人から161人に増加しました。
4. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、75人から55人に減少しました。
5. インフルエンザの患者報告数は3人で、迅速診断キットによる型別はすべてA型でした。

## II 第29週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	インフルエンザ	3	0.23										3	0.05	-1	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.13			6	0.60			1	0.17		8	0.19	3	
	咽頭結膜熱	10	1.25	3	0.33	1	0.10	2	0.40	3	0.50	1	0.25	20	0.48	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.50	11	1.22	36	3.60	1	0.20	2	0.33	1	0.25	55	1.31	-20
	感染性胃腸炎	44	5.50	16	1.78	34	3.40	12	2.40	32	5.33	23	5.75	161	3.83	34
	水痘					1	0.10			10	1.67	1	0.25	12	0.29	0
	手足口病	22	2.75	40	4.44	54	5.40			81	13.50	3	0.75	200	4.76	40
	伝染性紅斑	1	0.13	3	0.33	10	1.00			14	2.33	2	0.50	30	0.71	1
	突発性発しん	4	0.50	4	0.44	6	0.60			7	1.17			21	0.50	9
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	1	0.13	3	0.33					7	1.17	1	0.25	12	0.29	5
流行性耳下腺炎	5	0.63									3	0.75	8	0.19	6	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎				2	1.00								2	0.18	0
基幹	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎	1	1.00											1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎					1	1.00			1	1.00	2	2.00	4	0.67	3
	無菌性髄膜炎															0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							1	1.00	1	1.00			2	0.33	2

■は警報、■は注意報。「空欄」:患者発生無し。

## III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- ・結核(二類全数把握疾患):青森市+東地方2人、五所川原1人、上十三2人(2015年計:169人)
- ・腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患):むつ1人(2015年計:34人)
- ・アメーバ赤痢(五類全数把握疾患):弘前1人(2015年計:6人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌感染症(五類全数把握疾患):八戸1人(2015年計:9人)

## IV 病原体検出情報 ※( )内は、検査材料及び検体採取日、検出数です。

- ・下気道炎患者(鼻汁、咽頭ぬぐい液、6/24~6/25)・・・コクサッキーウイルス B5型及びパラインフルエンザウイルス3型:八戸(2)、ヒトライノウイルスA:八戸(1)

# 感染症の窓

## 夏休み期間中 海外で注意が必要な感染症

夏休み期間中は海外へ渡航する方が多くなります。海外滞在中に感染症にかかることなく、安全で快適に旅行し、帰国することができるように、予防対策を身に付けましょう。主な感染症及び予防対策は表のとおりです。

感染症には潜伏期間が数日から1週間以上と長いものもあり、帰国後しばらくしてから具合が悪くなる場合があります。体調が悪くなったら早急に医療機関を受診し、渡航先、滞在期間、現地での飲食状況、渡航先での職歴や活動内容、動物との接触の有無、ワクチン接種歴などを伝えてください。

表:海外で注意が必要な感染症及び予防対策

	蚊やマダニなどが媒介する感染症	動物からうつる感染症	諸外国での感染に注意すべき感染症	そのほか注意すべき感染症
感染症名及び発生地域	・マラリア、デング熱:熱帯・亜熱帯地域 ・ウエストナイル熱:アフリカ、欧州南部、中央アジア、西アジアなど ・クリミア・コンゴ出血熱:中国西部、東南アジア、中央アジア、中東など	・鳥インフルエンザ:東南アジア、中国、中東、ヨーロッパ、アフリカなど ・狂犬病:世界のほとんどの地域、特にアジア、アフリカ ・エボラ出血熱:アフリカ(中央部~西部)	・麻しん:パプアニューギニア、フィリピン、ニュージーランド、ベトナムなど ・風しん:中国など ・ポリオ:アフガニスタン、パキスタンなど ・中東呼吸器症候群:サウジアラビアなど	・A型肝炎 ・E型肝炎 ・コレラ ・赤痢 ・腸チフス
予防対策	・長袖、長ズボンを着用し、素足でのサンダル履き等は避ける。 ・虫除け剤の使用により蚊にさされないよう注意する。	・鳥インフルエンザ:家きんとの接触を避け、むやみに触らない。 ・狂犬病:犬等にむやみに近づかない。 ・エボラ出血熱:流行地への旅行を控える。	・麻しん、風しん、ポリオ:予防接種が有効。 ・中東呼吸器症候群:手洗い、加熱不十分な食品を避けるなど。	・手洗いをこまめにする。 ・生水を飲まない。 ・水を避ける。 ・完全に火の通った食べ物を食べる。 ・生野菜は避ける。

【参考】厚生労働省 HP「夏休み期間中における海外での感染症予防について」  
(http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\_iryuu/kenkou/travel/2015summer.html)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第19週～2015年第29週）

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
19	H27.5.4 ~ H27.5.10			侵襲性肺炎球菌感染症1人			
20	H27.5.11 ~ H27.5.17			侵襲性肺炎球菌感染症1人 後天性免疫不全症候群1人			
21	H27.5.18 ~ H27.5.24	つつが虫病1人 梅毒1人		クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
22	H27.5.25 ~ H27.5.31		侵襲性インフルエンザ菌感染症1人	急性脳炎1人		つつが虫病1人 梅毒1人	
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	つつが虫病1人 ウイルス性肝炎1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	つつが虫病2人 カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症3人 侵襲性肺炎球菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人
25	H27.6.15 ~ H27.6.21		腸管出血性大腸菌感染症3人	侵襲性肺炎球菌感染症1人			細菌性赤痢1人
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	腸管出血性大腸菌感染症1人				侵襲性肺炎球菌感染症1人	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	腸管出血性大腸菌感染症12人		腸管出血性大腸菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人			カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	腸管出血性大腸菌感染症7人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H27.7.13 ~ H27.7.19		アメーバ赤痢1人	カルバペネム耐性腸内細菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人

VI 結核(二類全数把握疾患) (2015年第19週～2015年第29週)

単位：人

週	期間	東青 (東地方保健所・青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
19	H27.5.4 ~ H27.5.10		1	1		1	
20	H27.5.11 ~ H27.5.17	4		1		1	2
21	H27.5.18 ~ H27.5.24	1	1	1		3	
22	H27.5.25 ~ H27.5.31		1	3	1		1
23	H27.6.1 ~ H27.6.7	2	1	4		1	
24	H27.6.8 ~ H27.6.14	3	1	1			
25	H27.6.15 ~ H27.6.21	2		1			
26	H27.6.22 ~ H27.6.28	2		3		2	
27	H27.6.29 ~ H27.7.5	2	2	2			1
28	H27.7.6 ~ H27.7.12	1					
29	H27.7.13 ~ H27.7.19	2			1	2	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2015年第1週～第27週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	野兔病	ライム病	レジオネラ症	
累積報告数	12124	3	72	1066	21	22	100	145	8	5	2	28	10	68	121	65	3	18	1	3	637	
分類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	種痘性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻疹	薬剤耐性アシネトバクター感染症	
累積報告数	6	560	127	662	271	8	88	246	715	38	129	18	1392	157	1144	63	50	28	104	24	18	

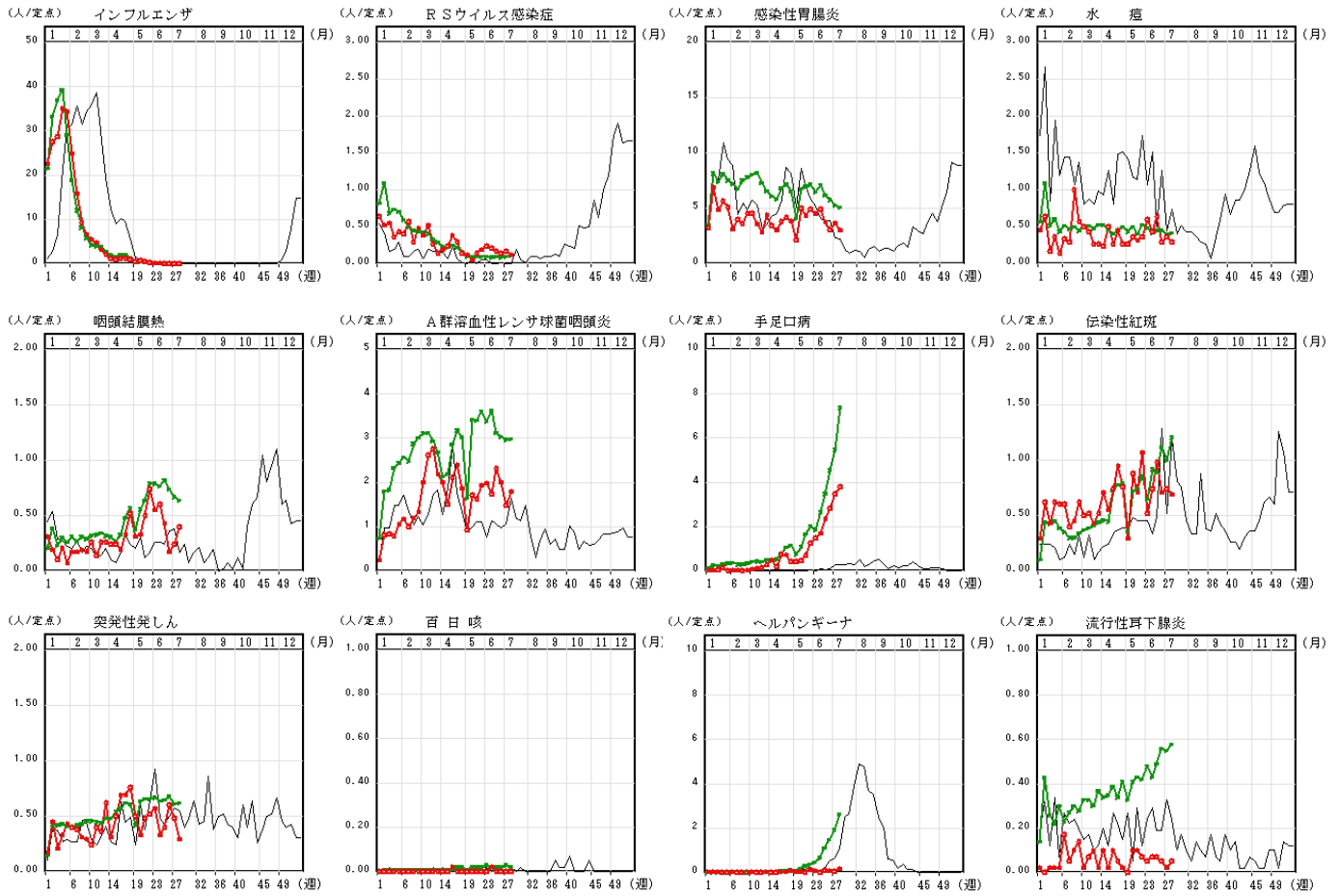
青森県

(2015年第1週～第29週累計)

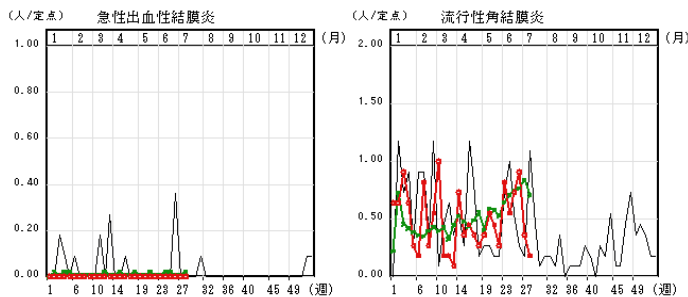
分類	二類	三類	三類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	細菌性赤痢	つつが虫病	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒		
累積報告数	169	34	1	8	6	1	9	1	1	2	2	12	2	3		

## VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2015年第28週)

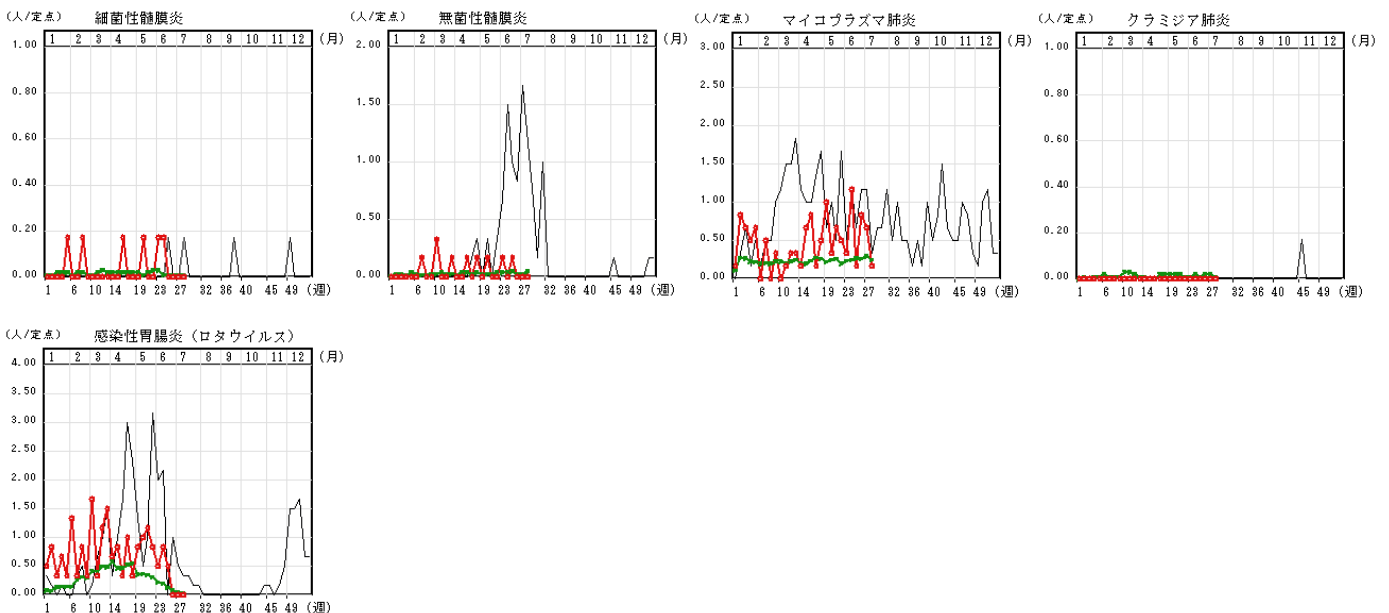
グラフの説明 ○—○は2015年青森県、——は2014年青森県、×—×は2015年全国



## IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2015年第28週)



## X 基幹定点把握疾患週別推移 (2015年第28週)



## XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第29週は報告がありませんでした。

### 平成27年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月			計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-13週	14-17週	18-22週	23-26週	27週	28週	29週	
介護・老人福祉関係施設	件数	7	5	1	0	2	0	0	0	0	15
	発症者数	107	94	47	0	27	0	0	0	0	275
児童・婦人関係施設等	件数	3	0	1	1	0	1	0	1	0	7
	発症者数	61	0	5	19	0	14	0	28	0	127
障害関係施設	件数	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
	発症者数	0	0	10	0	0	16	0	0	0	26
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	10	5	3	1	2	2	0	1	0	24
	発症者数	168	94	62	19	27	30	0	28	0	428